

平成27年度 阿賀野市社会科部 活動報告

部長 星 直之

1 研究主題 地域素材を生かし、学力向上を目指した社会科の授業づくり

2 研究の概要

4月21日（火） 第1回部会 組織の構成・役割・事業計画の作成

6月10日（水） 第2回部会 阿賀野市湧水めぐり

11月24日（火） 第3回部会 絵付け体験「三角だるま」

3 研究の実際

（1）阿賀野市湧水めぐり

阿賀野市には、様々な湧水がある。しかし、阿賀野市に居住している部員、阿賀野市に勤務している部員でさえ、その場所を全て知っている者は少なかった。そこで、岩瀬の清水、権現山霊水湧水場、魚止めの滝、薬師の清水、羽黒歓迎塔の清水、優婆尊御霊水の6か所を見学して回った。実際にその場所に行き、湧水に触れることで、それぞれの湧水の温度を感じることができた。場所によっては、その冷たさに驚くこともあった。また、口に入れて味わうことで、湧水の味の違いを実感することができた。



（2）絵付け体験「三角だるま」

阿賀野市水原地区の伝統工芸品である「三角だるま」について、現在唯一の職人である今井マスエ様を講師にお迎えし、ご講話いただいた。今井さんのお話を通して、三角だるまの歴史や三角だるまに込められた願いなどを詳しく学ぶことができた。その後、三角だるまの絵付け体験や表情付け体験をさせていただいた。専用の絵の具はきれいに色を付けるのが難しく、また木と墨で表情を付けるのにも苦労したが、部員の個性あふれる三角だるまを作ることができた。



4 成果と課題

今年度は、阿賀野市に多くある湧水と水原地区の伝統工芸品である「三角だるま」について研修を行い、阿賀野市の地域素材の多さを改めて実感することができた。2つとも部会でなければ経験できないことで、部員にとって大変貴重な学びの機会となった。

一方、阿賀野市は安田、京ヶ瀬、水原、笹神の4つの地区から成り立っている。今後は、数多くある阿賀野市の地域素材を社会科を中心に、それぞれの学校に応じて教材化・自校化していく必要がある。